



発行 社会福祉法人
 いちょうの里後援会
 発行責任者 藤吉幸博
 千葉県勝浦市大森上植野
 入会地 13-2
 Tel. 0470-76-4321

今年度も宜しくお願い致します

後援会会長 藤吉幸博

昨年度に引き続き会長を務めさせて頂いております。昨年度も、地域の皆さま方、会員の方々他、様々な方々に、ご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。昨年度は、二二一件の会費のお振込みを頂きました。心から感謝申し上げますとともに、今年度も引き続きご支援賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

現在、いちょうの里の経営改革が地道に進められており、後援会もまた連携して中長期を睨んだ支援の強化を図っていく所存でございますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

今年度の活動計画

五月七日に、役員会を開催し、昨年度の総括を行うとともに、今年度の活動計画を決めました。次にその概要をお知らせ致します。

- 会員の増強
- 広報の継続（ホームページの鮮度維持等）
- 法人・学園の活動・資金援助の強化
- 学園と共同した他施設および、関連機関との連携の検討

先に述べましたが、今年度は昨年度以上に福祉環境の厳しさが増しており、利用者サービスの質を維持し、学園活動を円滑に進めていくには、後援会の役割も重要であり、活

動計画を着実に進めていきたいと考えております。そのためには、会員の皆様のご支援が必須でありますので、宜しくお願い申し上げます。

また、役員会において一部役員の変更を行いました。長年、広報誌「いちょう」の編集をはじめとした広報活動に尽力をいただいた提橋様と、監査に尽力いただいた真山様が退任されました。厚くお礼申し上げますとともに、引き続き会員としてのご支援をお願い致します。

最近の学園のトピックスとしましては、六月七日に恒例の「みずほ祭」が開催されました。好天にも恵まれ、今回新たな試みとして地元のプロの落語家、お笑い芸人（漫才）、女性歌謡歌手をお招きしてのプログラムも好評で、地元の方をはじめ参加者皆で、楽しい時間が持てました。

当日は地元の方々、近隣の施設、ボランティア団体等の方々にも、大変お世話になり感謝申し上げます。

なお、後援会では、学園の活動に対するボランティアの募集も行っておりますので、御協力をお願い致します。

※後援会監事を担当頂きました真山様が、六月二十日にご逝去（享年八十歳）されました。ここに生前のご尽力に、心から感謝するとともに、謹んで弔意を表しご報告いたします。



「ダンス」パフォーマンス、by ドリームキッズ（みずほ祭り）

全国的に福祉環境が厳しくなる中において、後援会として社会福祉法人いちょうの里及びみずほ学園への支援が、未だ十分には出来ておらず、会長として反省しております。

地域に支えられた「みずほ祭り」

みずほ祭りに参加して

後援会会員 櫻井涼子



今年もみずほ祭りがやってきました。保護者として祭りに参加するようになって早いものでもう六年が経ちます。

勝浦市に住んでいながら息子が入所するまでは、祭りに参加する機会がありませんでした。



バザー会場に人だかり

参加して感じることは、みずほ祭りは年間の大きなイベントの一つとして地域の方々の楽しみになっているという事です。



また、地域の方々の協力な出陣では来ないという事を毎年強く感じています。

当日は、祭りに参加した地域の子供たちや利用者の皆さんが、美味しそうに食べるアイス、焼きそば、フランクフルト等の食べ物。



わた菓子がおいしそう！

大人の方々が買って下さる園芸班で育てた花々。



みずほ産花と野菜の販売



中央では毎年、ダンスあり、歌あり、踊りあり、そして祭りの締めくくりとして、ビンゴゲーム・オークション・くじ引きを参加者全員で楽しみました。



ポップコーン早くほしいなあ～

私は、今年はポップコーン売り場担当でしたが、地域の子供たち

に交じって、ポップコーンを買っている利用者の生き生きとした顔がとっても印象的でした。



地元中心の模擬店

我が息子も入所したころは、祭りを楽しむ余裕もありませんで



楽しい一日でした。

でしたが、六年経って今年は職員の方の支援を受けながら、お金をだし美味しそうに食べていました。

来年はどの様な祭りになるの
でしようか？そして、息子がどの
様に楽しむのでしょうか？今か
ら楽しみです。

第二十四回

みずほ祭りを振り返って

主幹 金澤賢一



前日まで雨模様で祭り当日も
朝から曇り空でしたが、祭りがス
タートした時点では陽も差し出
し、正午ごろには沢山の来場者の
熱気で会場の気温もグングンと
上昇していました。

寄席
「入船亭扇海」さん



「サンシン」ラ
イブ〜とさけ
ん〜

美しい声と顔
きたはら いづみさん



青空一風・千風さんの
漫才

予定通りに祭りを進行する事が
出来て本当に良かったと思いま
す。



利用者も祭りに参加！

そんな人と物でこった返す中、
ケガ人や熱中症の人などもなく

舞踊（勝浦婦人会）



ヨーヨーつり

そしてイベントでは、特別ゲス
トとして、「入船亭扇海」さんによ
る楽しい寄席をはじめ、お笑い芸
人「青空一風・千風」さんの漫才
で会場が沸き、歌手の「きたはら
いづみ」さんによる生ライブが
祭りに一層の華をそえてくれて
大変盛り上がり、素晴らしいイベ
ントとなりました。
三月より実行会を発足し準備
してきましたが、各部署（関係者）
がそれぞれの役割をきちんと遂
行（適材適所）してくれたことが
成功できた要因だと思ふと同時に
、ご協力して下さいました皆様に
感謝申し上げます。

見事特等！とてもうれしそう



ビンゴゲームを楽しむ参加者

また、これから十年・二十年先
の「祭りの在り方」についてもし
っかりと考え、無理や偏りのない
方法（負担軽減）で続けていける
ようにそれぞれが知恵を出し合
い地元で愛される（楽しみにされ
る）祭りになれるよう頑張りまし
よう！

◆ 広報担当より一言

広報担当 上野 武 紀



第二十四回みずほ祭り(六月七日)も、梅雨目前の晴天に恵まれ大成功に終わりました。

祭りの成功の陰には、地域の皆様のご協力はもとより、「まつり実行員会」での綿密な企画・検討と、関連団体・近隣施設との調整に加えて、前日からの学園職員による会場設営等々、努力の賜物と感謝致しております。

また、例年保護者の皆様からのバザー用献品をはじめ、企業(十一社)からの献品、オークションのための商品提供等々ご支援いただきました。

なお、ボランティアとして参加頂いた方の総数は二六三人で、参加団体は、次のとおりです。

- ・古新田地区青年会
- ・上野地区社協
- ・勝浦市婦人会
- ・日 赤
- ・サークル響
- ・ボランティア連合
- ・熱血勝浦タンタンメン船団
- ・松野ZP倶楽部、
- ・オーシャンズ若潮明社

- ・どんぐり村
 - ・郵便局ボランティア
 - ・音 響
 - ・スタジオドリム
 - ・入船亭扇海(落語)
 - ・青空一風・千風(お笑い)
 - ・きたはら。いずみ(歌謡歌手)
 - ・くとさけん
 - ・近隣六施設、
 - ・いちちょうの里後援会
- 心からのお礼と感謝を申し上げます。有り難うございました。



◆ 春陽竹林で筍狩り

◆ 筍狩りを担当して

支援員 大鐘 優 喜



今年度の筍狩りを担当させて頂きました大鐘です。自分は今回、初めて行事の担当を務めることになったので、上手く出来るか不安でした。

しかし、職員・利用者・ご家族・地域の方々、皆様のご協力の下、

無事に終わることが出来ました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

筍狩り当日は、晴天にめぐまれ春らしい陽気の中、皆様楽しんで頂けたことかと思えます。見事大きな筍を掘り出せた方、途中で折ってしまった方、掘り出したと思ったら伸びすぎていて食べれない物だったり・・・と、皆様、思い思いに楽しまれている姿が印象的でした。



軽トラにいっぱい取れた。

話しは変わりますが、実は筍狩りが行われる山は、我が家の土地だったりします。

日頃より、私の祖父が、みずほ学園と縁があった為、毎年恒例の行事となったそうです。

我が家の筍を皆様美味しく召し上がって頂けたのであれば、幸いです。

◆ 広報担当より

筍狩りは、今では学園の年間イベントのひとつとして、すっかり定着しております。

毎年、学園利用者のために竹林を開放頂いております大鐘様をはじめ、「たけのこ会」の皆様の苦勞と、ご協力に心より感謝申し上げます。お疲れ様でした。

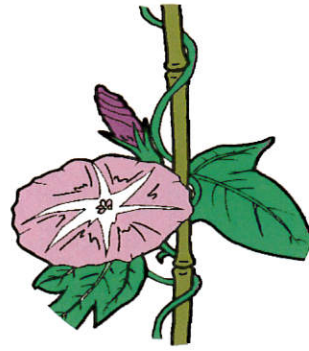
例年、五月の利用者が帰宅する前日に竹林で筍を掘り、翌日の帰宅時にそれぞれ利用者が、自宅にお土産として持って帰りますので、保護者も毎年五月の帰宅は楽しみにしており、とても喜んでおります。



たけのこ会の皆さん お疲れ様！

話は変わって、実は私の友人が青森県の津軽に住んでおりますが、東北には筍(孟宗竹)がないと聞き、早速、勝浦産の筍を送ってあげましたら大喜びの電話を貰いました。

孟宗竹の北限は何処だろう？と調べてみましたら、岩手県南部辺りが北限の様です



生涯利用への学園づくり

施設長 佐瀬義雄



四月から施設長をおおせつかりました佐瀬義雄(昭和二十八年生・六十二歳)と申します。

早いものでいつの間にか梅雨入りとなり、私も早や三ヶ月余日が過ぎました。

藤吉会長をはじめ、後援会の皆様には年間を通した各種イベント及び施設運営等に大変お世話になっております。ご協力に感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

いちょうの里みずほ学園は、利用者皆さんの安定した生活支援の責任があります。そのためには、支援員を主とした職員のスキルアップと働き甲斐のある職場環境づくりが必要で、更なる経営基盤の改善を行うとともに、役員・職員が信頼と連携をもって取り組むことが必要不可欠と考えます。

高齢化している施設利用者の皆さんが、生涯にわたり安心して生活できる学園を追究すとともに、施設利用者と全職員の将来を展望した いちょうの里みずほ学園づくりを求め続けていきたいと考えます。

後援会の皆様におかれましては、会員の増強と学園への支援強化及び今後の施設運営へのご理解とご協力をお願いするとともに、なお一層のご支援を切にお願い申し上げます。

なお、先般行われた「第二十四回みずほ祭り」が晴天の下、皆様のご協力により盛大に行われ、成功裏に終わることができました。

バザー用品のご寄附や暑い中での運営にご協力頂きましたことに対し重ねてお礼申し上げます。



◆平成二十七年 度 みずほ祭り・献品企業名 (寄付者)

- ・(株) にんべん 営業支援部 様
- ・リンテックコマース(株) コンシューマ営業部 様
- ・エバラ食品工業(株) マーケティング部販売促進課 様
- ・三井製糖(株)お客様サービス課 様
- ・(株)小名屋 様
- ・(株)天乃屋 総務経理課 様
- ・日本食研(株) 千葉営業所 様
- ・理研ビタミン(株) 業務用食品東京2チーム 様
- ・ブルドッグソース(株) 営業企画室総務グループ 様
- ・雪印メグミルク(株) 市乳事業部千葉販売課 様
- ・石井食品(株) 管理本部 様
- ・コカコーライーストジャパン(株) 様
- ・(有)近藤自動車商会 様
- ・鶴屋 商店 様
- ・府川 精肉店 様
- ・八百金青果店 様
- ・(株)房給 様
- ・山五 鮮魚店 様
- ・御門 商店 様
- ・伊勢 一米穀 様
- ・伊勢仁 商店 様
- ・きへどん 商店 様
- ・鈴木 肉店 様
- ・小松屋 商店 様
- ・木村 商店 様
- ・渡辺 啓商店 様

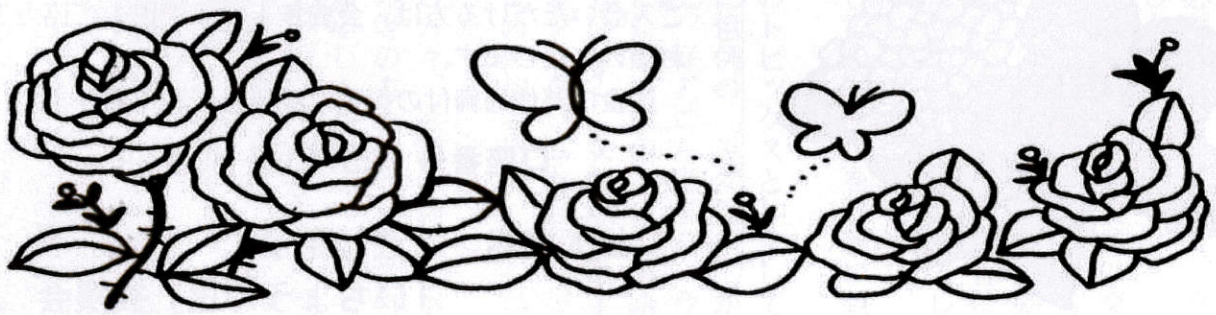
(次のページに続く)

内海正弘 菅原周一郎 並木菜穂子 吉川賢一郎
 大石恭一 杉山圭一 二村順子 (株)ランディック
 大坂和子 須藤一枝 西村律子 川島通男
 大貫喜美子 清野八枝 橋本平治 渡辺秀雄
 大野鮎子 関口朱美 早瀬安之助 愛川義雄・久子
 岡村栄子 関(株)セラウエーブ 林田豊 安藤榮彦・芳子
 岡村次郎 高橋実 平松千恵 伊賀真由美
 岡本幸男 高梨一秀 藤本正之 岩渕上・優子
 岡本留美 高橋長逸 藤井昭子 上田順皓・厚子
 小田切昭子 匠マネージメント(株) 松田喜昭 上野武紀・三千代
 小田光明 杉本学武 松田晴枝 宇佐美斌・知子
 神出建雄 高橋敏夫 松田末和 大川清・和枝
 加藤光江 松田電氣管理事務所 大野正明・敏子
 北村三江子 田村健二 松原陽子 岡村秀人・慶子
 桐畑正之助 千葉宏・智枝子 真鍋春一 小野寺豊雄・京子
 黒澤夏子 土屋キヨ 宮里英助 榎下順子
 黒澤文敬 坪内一博 村上和子 喜屋武隆一郎・邦子
 小林茂彦 坪内多恵子 谷島和江 桐畑哲雄・美和子
 小松健彦 鶴丸紀子 矢野由美子 小口浩・富美子
 斉藤紳也・紀枝 徳丸ひろみ 山田玲子 佐久間五十雄
 斉藤みどり 徳田吉明 山本英史 櫻井登・涼子
 佐田英夫 鳥井文恵 山本富士夫 清水邦保・英子
 篠原勝一 中田英男 八幡和夫 正田行宏
 清水佐久子 中村和希・由季子 (株)ユアスペース 須藤昌子
 清水義光 中村登美子・圭吾 中尾昌弘 関雪子
 白井正一 シルバーPC同好会 (有)ユアスペース 辰巳鐵次郎・富士子
 有馬征次 永島田信一 エンヤ 圓谷明彦 坪内武・栄子
 轟敬・セツ



鳥井恒男・康子
 中田禾穰・ふみ代
 萩原道子
 早瀬榮・圭子
 藤井順子
 藤吉幸博・真知子
 牧山滋・愛子
 真山泰・節子
 山本英宣・淳子
 渡辺浩氣・さき子
 加藤司・由美子
 末森博文・美知
 中村てる子・和史
 長谷川政二・久美
 丸智之・万由美

順不同、また敬称を省略させていただきます。ご了承ください。



会計担当からのお知らせ

会計担当 牧山 滋



月日の流れははやいもので、今年も早くも半年が過ぎました。

(福)いちょうの里後援会会員、関係者の皆様にはご健勝のことと存じ上げます。昨年度は、多大なご支援、ご指導を賜り心より御礼申し上げます。

平成二十七年度最初の広報誌「いちょう」二十三―一号をお届けさせて頂きました。

福祉に関わる財政面での環境は国、県等の補助金削減により益々厳しさを増しております。会費の振込用紙は次回号に同封させて頂きますが、何卒ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、お振込に際して、一つお願いがあります。お手数をお掛けして申し訳ございませんが、領収

書の要、不要については、どちらかに①点マークを付けて頂くようお願い致します。また、紹介者がいらつしやる場合はその方の氏名も合わせてご記入いただければ幸いに存じます。



編集後記

地域・後援会会員の皆様をはじめ、多くの方々には、日頃より当後援会活動にご支援・ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

後援会広報誌「いちょう」第二十三―一号を皆様の元にお届けするにあたり、ひと言お知らせ致します。

「いちょう」第二十二―四号(本年一月発行)までの広報誌発行を担当してまいりました提橋さん(この道のプロ級)が諸事情により担当を降りることになり、本号から全くの素人の私(上野)が代わって担当することとなりました。

その様な訳で、本号は初めての試みとして、先に行われました、「みずほ祭り」と「笥狩り」を中心とした広報誌の内容としました。

ところで、福祉社会を取り巻く財政環境は年々厳しくなる状況にあります。

後援会としては、今後も法人および、みずほ学園を継続的に支援するため、会員の増強を図るべく、より良い内容の広報紙「いちょう」の発行に努力して参りたいと考えております。

皆さまには、今後とも引き続き後援会の活動にご支援・ご協力をお願いすると共に、知人・親しい方等おられましたら、入会の呼びかけを切にお願い申し上げます。

後援会入会のお願い

いちょうの里後援会では会員を募集しております。ご入会いただける方は、会費年1口3千円のご協力をお願いいたします。

送金は郵便局備付の振込取扱票をご利用願います。

口座番号：00140-7-604319

加入者名：社会福祉法人

「いちょうの里」後援会

